高額大規模リフォーム強化

「暖かい家」提案でHEAT20・G2推進

関東以北を中心に年間220棟の注文住宅を販売施工する北洲（宮城県黒川郡、村上ひろみ社長）は、建材販売業で世界各国から直輸入した床材や羽目板など自然素材を生かした家づくりを38年にわたり行っている。近年ではリフォーム事業にも力を注いでおり、「サーモグラフィ」を活用したインスペクションをしっかりと行ったうえで、断熱性能を向上させる大規模リフォーム「一棟まるごとリフォーム」の提案を強めている。同社のリフォーム事業の施策と事業全体の動向を村上社長に聞いた。

トップに聞く

北洲
社長　村上 ひろみ 氏

――現在の売上げは建材事業と住宅事業で約半々の割合で、近年ではリフォーム事業にも力を入れている

村上　わが社は北国の会社だからこそ「暖かい家をつくる」ことに立脚した事業を継続し、次世代のスタンダードを作ろうという強い思いでやってきた。リフォームはレッドオーシャンになりつつある分野で、家電をはじめ他業界が参入してきており、そうしたところと競うような商材では仕方がない。わが社のリフォーム分野でのポジションは、長期優良住宅の基準をクリアする「断熱」に力を入れた大規模リフォームの提案だ。

お客様が求めれば水まわりだけでも受けるが、構造見学会や完成見学会を通して、当社の施工を見ていただいたうえで、500万円以上あるいは1千万円以上のリノベーションを提案することを基本としている。リフォームに関するトピックでは昨年、リフォーム前のインスペクションが評価されて強靭化大賞2015（一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会主催）の最優秀レジリエンス賞を受賞した。精密なサーモグラフィを活用して、壁の中までも検査し、お客様に過度な負担をかけることなく、住宅の検診書とともに、正確な見積もりを出せる。

断熱診断の充実が基本

――リフォーム事業強化の具体的な施策は

村上　人員を増やし、商品提案ツールも揃えた。このほかリフォーム現場で一晩かけて実測したデータをもとにした「次エネルギー計算を行っている。これはJ建築システム（北海道札幌市）が「アルセコ外断熱システム」は耐火性にも優れた素晴らしい商材。断熱性能にしっかりと向き合う業者の方々に受け入れられ、引き合いが増えてきた。

サイディングをプレカット

――今春、サイディングのプレカットシステムを開発した

村上　現場でのタブレット端末とレーザー距離計を活用した正確な測定とCAD入力で高精度を実現した。今後の職人不足を見据えて開発したシステムだが、こうした仕組みを日本で成功している会社はなかなかない。

このシステムは、工場でミリ単位でジャストにプレカットするので、現場でのカットの際の粉じんや騒音の問題も低減できる。現場では貼り付け作業のみを行うので、工期も従来5日だったのが2日になる。これは時代の求めに応じた商品であり、しっかりと断熱された家がどういうものなのかを知った。ドイツでは壁の厚さが30㌢というのは普通。それは日本と全く違う家だった。当社はアルセコ社の門戸をたたき、独占契約を獲得した。

外断熱イコール〝全て解決〟というわけではないが「アルセコ外断熱システム」は耐火性にも優れた素晴らしい商材。断熱性能にしっかりと向き合う業者の方々に受け入れられ、引き合いが増えてきた。

サイディングをプレカット

――今春、サイディングのプレカットシステムを開発した

村上　現場でのタブレット端末とレーザー距離計を活用した正確な測定とCAD入力で高精度を実現した。今後の職人不足を見据えて開発したシステムだが、こうした仕組みを日本で成功している会社はなかなかない。

このシステムは、工場でミリ単位でジャストにプレカットするので、現場でのカットの際の粉じんや騒音の問題も低減できる。現場では貼り付け作業のみを行うので、工期も従来5日だったのが2日になる。これは時代の求めに応じた商品であり、しっかりと断熱された家がどういうものなのかを知った。ドイツでは壁の厚さが30㌢というのは普通。それは日本と全く違う家だった。当社はアルセコ社の門戸をたたき、独占契約を獲得した。

――ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の展示場（CRTハウジング宇都宮総合展示場）を3月に開設した

村上　二酸化炭素の排出を抑制することには大賛成だが、太陽光発電設備で消費エネルギーを相殺するよりもまずは躯体の断熱性能を上げて省エネルギーを実現すること、HEAT20・G2グレードの推進が最重要となる。

わが社は早くから窓の断熱性に着目し1985年から樹脂製ペアガラスサッシを標準仕様にしており、それに美しさを加える意味で、木製サッシを輸入、採用している。提案するのは居室間も、同室内の上下にも「温度差がない」住まい。冬の寝室も18度以上。間仕切りで居室を小さくすれば消費エネルギーを抑えられ、ZEHにしやすくなるが、居室間で温度差が生まれる。わが社のZEHは、「家中どこでも暖かく、健康で快適な暮らし」の実現。

人が暮らして〝豊かになる〟のが家。長く愛され、健康に暮らせる家を今後も提供する。

住宅産業新聞（発行元：株式会社 住宅産業新聞社）2016年7月28日付